

製品名: ペプシン C ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab15965

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、ラット、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000 |
| 分子量 | 42kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | PGC |
| 別名 | PGC; Gastricsin; Pepsinogen C |
| 遺伝子 ID | 5225.0 |
| SwissProt ID | P20142 |
| 免疫原 | 抗血清はヒトペプシン C 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 257-306 |

背景

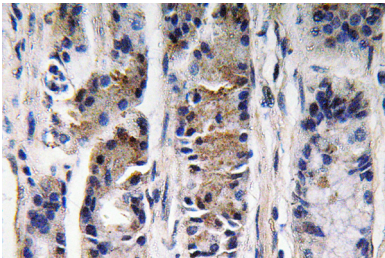
この遺伝子は、ペプチダーゼファミリー A1 に属するアスパラギン酸プロテアーゼをコードします。コードされているタンパク質は胃で産生され、胃粘膜の主要成分を構成する消化酵素です。このタンパク質は血清中にも分泌されます。このタンパク質は、高塩基性

のプロセグメントを含む不活性化酵素原として合成されます。この酵素は、低 pH 下で酵素自身によってプロセグメントが順次切断され、活性成熟型に変換されます。この遺伝子の多型は胃がん感受性と関連しています。この酵素の血清レベルは、ヘリコバクター・ピロリ菌関連胃炎を含む特定の胃疾患のバイオマーカーとして用いられています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。この遺伝子の擬似遺伝子は 1 番染色体上に存在します。[RefSeq 提供、2009 年 10 月]触媒活性: ペプシン A よりも特異性が限定されていますが、Tyr-Xaa 結合を優先的に切断します。ヘモグロビンに対して高い活性を示します。機能: 様々なタンパク質を加水分解します。類似性: ペプチダーゼ A1 ファミリーに属します。

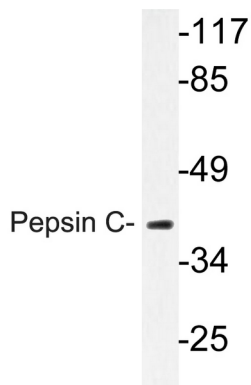
研究分野

心血管系

画像データ



パラフィン包埋ヒト肺癌組織におけるペプシン C 抗体の免疫組織化学分析。



ペプシン C 抗体を使用した、Jurkat 細胞の溶解液のウエスタンブロット分析。